

活動状況報告書（10月分）

学生留学コース 6期生 高橋 茉倫

9月18日からカナダのバンクーバーの語学学校で、今後の実践活動に向けて英語力を向上させるため、英語学習に努めています。学校の授業は週5日、1日6コマで、Grammar, Speaking, Reading, Listening, Writingの5つのスキルを伸ばすための学習活動が1つ1つの授業の中に織り交ぜられながら展開されています。どの授業においてもSpeakingは中心になっており、英語学習において、受け身ではなく常に自分の頭の中で考え、言葉にして発することの重要性を感じました。

クラスにはブラジル、スペイン、メキシコ、韓国など様々な国からの留学生がいるため、異文化に触れながら英語を学ぶことができていることや新たな発見に日々心を躍らせています。

また、私達英語を母語としない学生へ向けて授業を行う先生方の授業展開の仕方にも注目することで、英語を教える側になった時に参考にするべき点を考えながら授業を受けています。今後受講するTESOL(英語を母語としない人への英語教授法)で学ぶことにはなるとは思いますが、授業を受講する学生としての視点からも、発言に対するフィードバックやアイコンタクト、黒板の使い方、クラスの雰囲気づくりなどの重要性、それらが及ぼす生徒の学習意欲への影響の大きさを実感しています。

来週からは児童への英語教育法の学習が始まります。時間を大切に、勉学に励んでまいります。

